

饗庭野演習場における 155mm 榴弾砲の弾着不明事案 に係る事故調査結果と再発防止策について

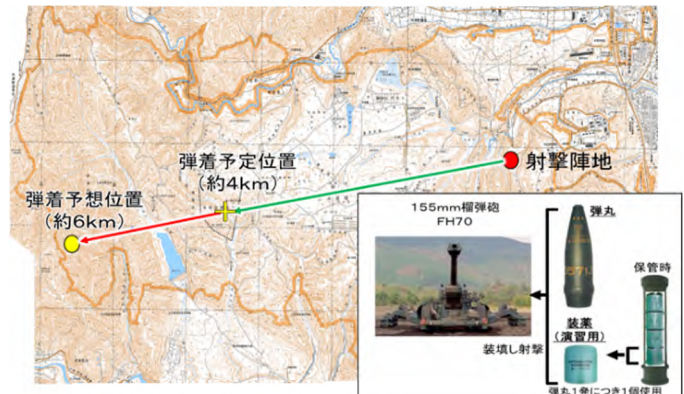
1 事案の概要

(1) 概要

令和7年2月3日(月)14時40分、
饗庭野演習場において 155mm榴弾砲
の射撃訓練中、1発の弾着が演習場
境界付近で不明となったもの。

【人的等の被害なし】

【射撃位置と弾着予想位置(略図)】



(2) 経過

<陸上自衛隊事故調査結果等説明資料 抜粋(R7.7.26)>

ア 陸上自衛隊は、事故発生以降、全ての射撃訓練を中止するとともに、不明弾の搜索を実施。

イ 7月11日、陸上自衛隊は、搜索間に演習場内で発見した金属片を当該不明弾と特定。

(詳細はP3「発見した金属片」を参照)

ウ 7月26日、陸上自衛隊は、事故調査結果および再発防止策を公表。

エ その他

(ア) 7月30日、陸上自衛隊は、高島市に対し全火器の射撃の再開について理解・協力を依頼。

(イ) 8月7日、高島市は、陸上自衛隊に対し全火器の射撃の再開について容認することを回答。

県は、高島市が総合的に判断された同市の意向を尊重するとともに、今後とも
安全対策を徹底し、二度とこのような事故がないよう強く求めたところ。

2 事故原因

(1) 直接的原因

1個使用すべき装薬を2個使用したことにより、弾丸の推進力が増加。

(2) 間接的原因

ア 基本・基礎の不備

装薬を渡す隊員(㉒)が、装薬を挿入する隊員(㉓)に1個目を渡した後、本来は何も持たず
定位置でしゃがむべきところ、次弾の装薬を持って立っていた。

このため㉓は、装薬を挿入していないと勘違いし、㉒に装薬を渡すよう求め、㉒も不審に
思いながら渡した。

㉓は、挿入の際、砲身内の異物の有無を目視で確認しなかったため、すでに1個入れている
ことに気づかず2個目の装薬を挿入した。

イ 指導・監督及び練度管理の不備

当該砲を指揮・監督する砲班長、当該砲に配置された安全係の指導・監督の不備等。

3 再発防止策

(1) 饗庭野演習場における抜本的対策

ア 155mm 榴弾砲のほか、全火器の安全確認を実施

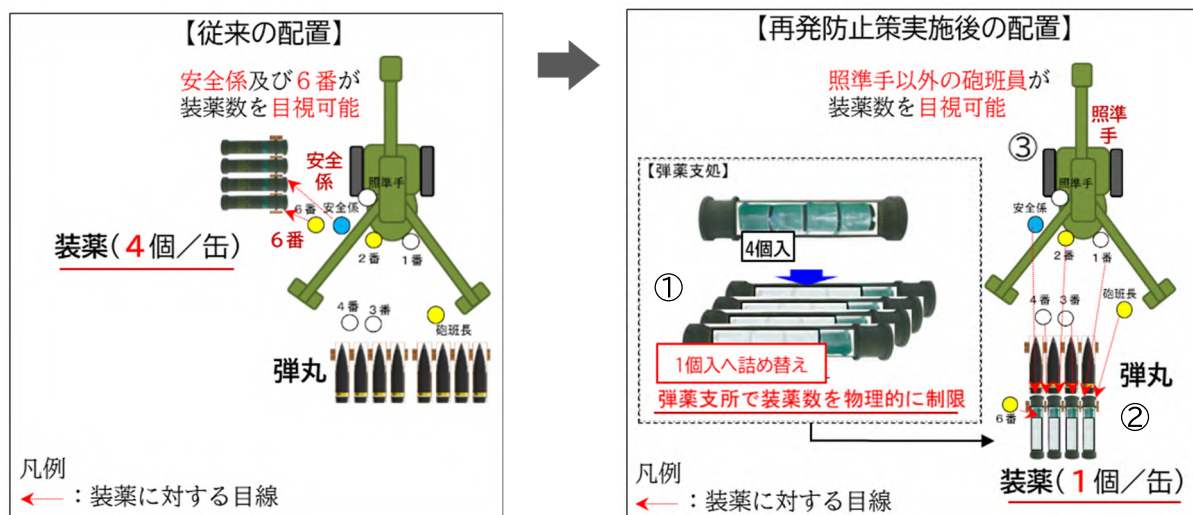
(ア) 155 mm榴弾砲

視覚的可視化による過誤の防止

【対策1】 弾薬支処では、従来4個入り1缶の装薬を交付していたが、再発防止策実施後は1個入り1缶の装薬を交付。※（表中①）

【対策2】 演習場では、従来弾丸と装薬を別の位置に配置していたが、再発防止策実施後は弾丸と装薬を一对で配列し（表中②）、照準手以外の砲班員が装薬を目視可能な状態にする（表中③）。

※ 装薬は、4個/1缶から1個/1缶に詰め替え。



<配置図：陸上自衛隊事故調査結果等説明資料要約（R7.7.26）>

(イ) その他の火器

勤務員を配置し、照準誤りの防止や誤った行動を制止させるなど演習場外に弾着しない射撃要領の確認・徹底。

イ 隊員の意識改革

「演習場で射撃をしているその先に地域住民の生活があることを認識し、地域の住民に不安を与えたり、危害を及ぼすような射撃を、絶対にしてはならない」旨を規則に定め、隊員に教育。

(2) 全陸上自衛隊に徹底する再発防止策

ア 教範を、初級者でも理解が容易になるよう改正し、基本・基礎を再徹底。

イ 安全教育及び事前訓練により、指導・監督および練度管理を徹底。

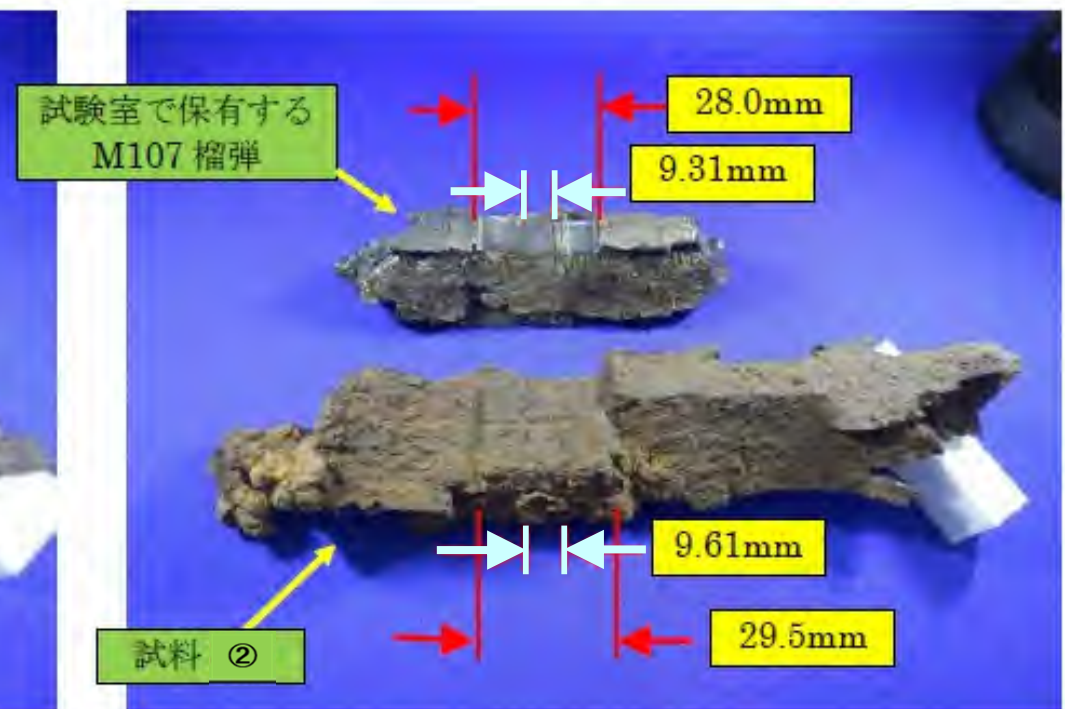
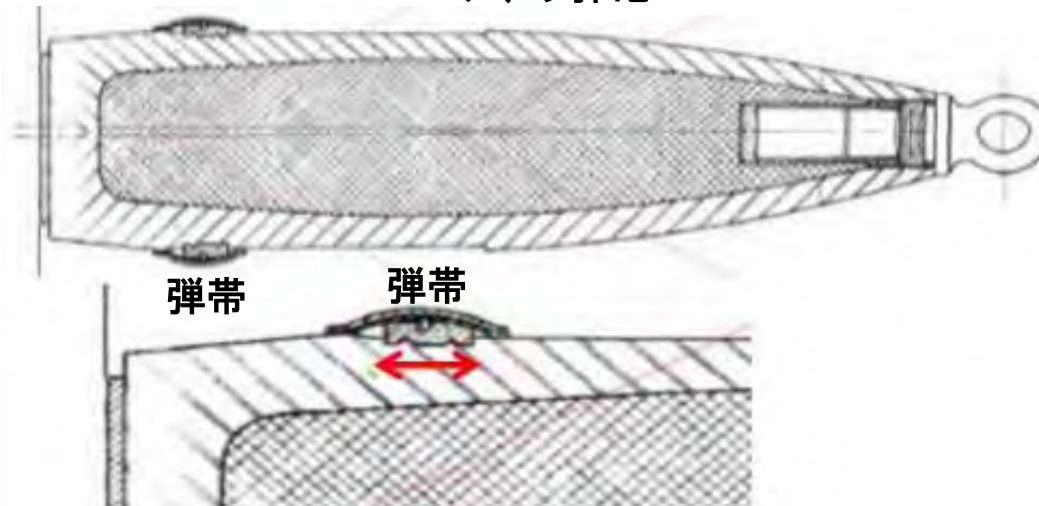
（詳細はP4「全陸自衛隊に徹底する再発防止策」を参照）

(3) その他（保安用地の安全管理強化）

保安用地外縁部への看板の設置及びロープ等による標示により、立ち入り禁止に関する注意喚起および誤進入を防止。

発見した金属片

155mmりゅう弾砲



全陸自部隊に徹底する再発防止策

【基本基礎の徹底】教範を、**初級者でも理解が容易になるように改正**し、基本・基礎を再徹底

第71 装薬の挿入

2番は、6番から、右手で装薬の点火薬部を、左手で重心部を保持して装薬を受け取る。この際、装薬は所命のものであるか、また点火薬覆いが除かれているかを確認し、装薬の種類及び号数を例えば「装薬、カート5」と復唱する。次いで弾丸保持クランプの解放を確認し、砲腔内及び薬室に異物が無いことを目視で確認（第35図）した後、静かに装薬を薬室内に入れ、緊塞環の装着状況を目視で点検する。この際、必要に応じ手指で点検する。（第36図）

装薬の挿入に際しては、装薬の点火薬部（赤色部、99式155mm榴弾発射装薬及び99式155mm榴弾砲演習用発射装薬の場合はつば部）が装薬止めの位置に達するまで挿入する。

砲班長は、この動作を監督する。（第37図）

第35図



第36図



第37図



【指導・監督及び練度管理の徹底】**安全教育及び事前訓練**により、指導・監督及び練度管理を徹底

指導・監督者に対する安全教育



事前訓練

